

Weekly Report of Inuyama



犬山ロータリークラブ

INUYAMA R.C.



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

国際ロータリー2021~2022年度テーマ

Rotary 第2760地区
犬山ロータリークラブ

■会長：高橋 秀治
■幹事：藤井 友喜
■会報委員長：鈴木 敏之

事務所／〒484-0061 犬山市大字前原字橋爪山1-4 犬山カンツリー倶楽部内
電話／0568-61-5219 F A X／0568-61-5523
U RL／http://www.inuyama-rc.org/ e-mail／info@inuyama-rc.org
例会会場／〒484-0061 犬山市大字前原字橋爪山1-4 犬山カンツリー倶楽部
電話／0568-61-2281 毎週火曜日／12：30～13：30

第2858回 例会 (R3. 11. 2 火 晴れ※)

点 鐘 高橋 秀治会長
R . S 君が代 奉仕の理想 四つのテスト
ビジター ☆名古屋大学環境学研究科 教授 野村 康様
☆米山奨学生 黄 夢婷(コウ ムテイ) さん
幹事報告 藤井 友喜幹事

※近隣クラブはコロナ禍により、ほぼメーキャップ受付を
されておりません

☆創立 60 周年記念式典 開催御礼

☆創立 60 周年記念 祝宴 家族例会のご案内

日時：11 月 30 日 (土) 17：30～

場所：名鉄小牧ホテル

* 次例会より出欠確認予定 (親睦活動委員会)

☆地区大会第2日目 当日スケジュール&交通案内

日時：11 月 7 日 (日)

* 出席義務者に先日 10/31(日)FAX にて案内済

* 本日名札とプログラムを配布、当日ご持参下さい

* コロナワクチン接種完了済、未接種の場合は直前の PCR
検査抗原検査で陰性が確認できた方が出席条件の為注意

☆11 月からの例会はネクタイ着用にてお願いします

出席報告 (宇佐美芳樹委員長)

出席率 100% 会員 52 名 (* 出席率は紙面での報告のみ)

祝 福 (近藤俊也委員長)

おめでとうございます!!

会員誕生日 住野 龍之介君 11 月 3 日

御夫人誕生日

福富孝弘君夫人真優美様 11 月 5 日(結婚記念日 11/18)



☆☆ お誕生日おめでとう
ございます! ☆☆



☆☆ 皆出席おめでとう
ございます! ☆☆

ニコボックス (関矢正己副委員長)

高橋秀治君 創立 60 周年記念式典は無事に開催する
ことができました。皆様ありがとうございました。名古屋大学環境学研究科 教授
野村康様のご来訪を喜んで! 本日の卓話、
黄さん頑張ってください。

(同文にて) 加藤浩一君 藤井友喜君 保浦博志君
井川光雄君 周年事業一連の催しに出席出来なかった
事をお詫びして

真野健二君 皆出席 9 年を喜んで!

安達寛益君 名古屋大学環境学研究科 教授 野村康様、
米山奨学生黄 夢婷さんのご来訪を喜んで!
卓話を楽しみにしています!

(同文にて) 福富孝弘君 埴田惣一君 原正男君
日比野良太郎君 井川光雄君 稲垣圭次君
板津英基君 河田敏和君 兒玉寿君
近藤斉宏君 近藤俊也君 真野健二君
松平實胤君 松山基邦君 丹羽敬昇君
小川誠君 小川征一君 大原隆一君
岡田雅隆君 奥村正幸君 大島匡博君
関矢正己君 千田光範君 鈴木一成君
田中進一郎君 谷定貴之君 梅田佳和君
宇佐美芳樹君 山田直廣君 山根雄司君
安田一生君 安田新平君 吉田洋君

会長挨拶 (高橋 秀治会長)



皆様こんにちは。まずはお客様のご紹介をさせていただきます。名古屋大学環境学研究科教授 野村康様。
そしてもう一方、米山奨学生の黄 夢婷さん。今日は後
程黄さんのお話をたっぷり聞きたいと思います。緊張
せずフランクな感じでお話をしていただきたいと思います。

精神的に大変な時に、こちらの方で奨学金をいただくことになったということで、経済的な面はもとより、梅田さんを始め皆様方に様々な機会を与えていただき、社会と接点が増えてきたということから精神的にも大分落ち着いて学業に取り組められるような状況になってきたのではないかと感じております。これも偏に犬山ロータリークラブの方々のご支援のおかげかと思ひます。重ね重ね御礼申し上げますと思ひます。

私はもともと政治学でインドネシアの事とかをやっていたのですが、並行して環境教育の研究もやっておりました。今ご紹介いただいたように環境学研究科というところにいるので、政治にせよ、教育にせよ、環境にかかわることをやっているわけですが、黄さんはこちらの環境教育に興味をもって大学で勉強をしております。

今の研究テーマは英語で言うと **Place-Based Education** という考え方がありまして、地域に根ざした教育、場の教育とかいろんな日本語があてはめられます。いろんな教科教育もそうですし、社会科、理科あるいは環境教育のような学際的な教育もそうですが、地域の題材を使って教育を行うことが、知識の定着を図るのに有効だし、知識を実践に生かす上でもいいのじゃないかというアプローチがあるわけですが、これの中国における可能性について検討しているところでございます。中国においては、ご存じの通り教育においても中央集権的に標準化された教育、画一化された教育を全土で行っているわけですが、この **Place-Based Education** という場合は地域の文脈に即した形で教育をデザインしていくわけで、かなりボトムアップな取り組みが求められるわけです。ですので中国においては政治的な制約がある中で、こういった取り組みがどこまで進められるのかという学術的にも政策的にも非常に興味深い取り組みを黄さんは研究を続けている。先程申し上げた通り、コロナで活動は大分制限されていますが、それでも着実に、ご存知と思ひますけれども、真面目な性格で、歩みはウサギとカメのカメのようなものかもしれませんが、着実に皆様方のご支援をいただいて前に進んでいると思ひます。マラソンで言うとまだ 10 km 地点かもしれませんが、このまましっかりと進んでいくと論文を書き上げてくれるのではないかと思っています。

今後とも皆様方にご支援をいただければ、幸いに存じます。

本日はこういった機会をいただきまして、誠にありがとうございます。また、併せて黄さんに対する支援重ね重ね御礼申し上げます。ご挨拶とさせていただきますと思ひます。ありがとうございました。

☆米山奨学生 黄 夢婷さん (名古屋大学)

こんにちは、何回か自己紹介をしましたが、いつも一言しか言っていなかったのが、今日は改めてちゃんとした自己紹介させていただきます。

黄 夢婷と申します。出身は中国の浙江省です。子供の頃から日本のアニメが好きで、ずっと日本に興味がありました。学部時代は日本語を専攻し、語学の勉強以外にも、日本の文化や歴史に関する授業や活動に数多く参加しました。その影響で、日本に対する関心が一層深くなり、日本への憧れと日本語の上達のために、

2016 年、大学 3 年生の時に日本に留学しにきました。最初は福岡にある日本語学校に 2 年間いました。この 2 年間は文化、ライフスタイルなどの面から多くの刺激を受けました。特に、ゴミの分別という習慣は日本に来てから身に付けるようになりました。このような異文化経験から、環境意識の高まりを一つの目的にしている環境教育に関心を持つようになり、名古屋大学環境学研究科に進学することを決めました。そして、2018 年から名古屋大学環境学研究科で環境教育について勉強してきました。今は「地域に根ざした教育」

(**Place-Based Education : PBE**) というアプローチは、ある地域のすべてを学びの場として、人と地域との繋がり意義を提起し、環境教育の分野で重要とされています。このような地域全般に関する学びを通じて、人と地域との繋がりへの理解が深まります。そして、環境問題の解決と個人の生きがいの関係を実感することで、さらに環境教育への意欲が増大し、その発展や環境問題の解決に寄与すると考えられます。

中国は国際的な動向の影響で環境教育を開始しました。政府主導で新しい概念を提示したり、法令を採択したりして、学校での環境教育を推し進めてきました。このようなトップダウン型の環境教育では、教員は受動的に環境教育を行っている可能性があるため、環境教育に対する教員の意欲を高めるのが難しいという問題があります。ということで、博士後期課程において、トップダウン型の環境教育が行われる中国において、教員の環境教育に対する意欲を高め、地域の文脈に即した環境教育を拡充していくための **PBE** のあり方を考察したいです。



次は学業以外に、日本でのアルバイトの体験について紹介したいです。まずは福岡で人生初のアルバイトをしました。それは日本語学校が紹介してくれた福岡空港でのアルバイトで、内容は飛行機の中の掃除でした。二人で 10 分ぐらいにできる小さな飛行機から、20-30 人でも 30 分以上かかる大型飛行機まで、違うタイプ、違う国の飛行機がありますので、面白い体験がたくさんできました。掃除以外に、飛行機が着陸してから離陸するまでの流れ、違う部門の人の協力を近い距離で見ることができ、忙しくない時は機械に触らせてもらう時もありますので、私にとっては、体験型の飛行機の見学のようなものでした。後、一番印象残ったのは、夕方の空港がすごくきれいということです。掃除は急いでやらなければならないのですが、待機する時間

